

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	132041	事務事業名	回天記念館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200203	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)平和発信の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民、入館者及び資料(遺品等)提供者	事業の目的(意図)	入館者に平和の尊さについて考察を深めてもらうとともに、大津島の振興にも寄与する。
事業の内容(手段)	・回天記念館の適切な管理運営を行い、平和学習を行う。 ・命と平和の尊さについて考える機会を提供する施設として、回天関係資料の展示及び解説や講話、講座等を通じて、平和啓発を行う。 S43.11開館。開館時間:8:30~16:30。休館日:水曜日及び年末年始。入館料:大人300円(団体240円)、18歳以下無料。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数	回天記念館の年間入館者数	人	目標値	17,000.0	17,000.0	17,000.0
			実績値	15,354.0	16,690.0		
			達成度(%)	90.3%	98.2%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	8,263	9,811	7,912	8,290
うち一財		千円	4,789	6,387	3,986	4,415	5,115
(決算額)	直接事業費	千円	9,775	7,802		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	6,080	4,330			
	正職員人件費	千円	3,032	3,184			
	人工数	人	0.41	0.43	0.32		
	支出コスト	千円	決) 12,807	決) 10,986			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	S44施設寄贈以降、委託による管理運営を行ってきたが、H10年の施設リニューアルを機に直営化した。映画「出口のない海」の影響でH18年度に入館者数の過去最高を記録後、約15,000人前後で推移していたが、H27年度は戦後70年でもあり増加した。また講座等の新たな事業を実施した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・資料の整理と調査を進めるとともに、回天の歴史等を後世に伝えるための長期的な体制づくりが必要である。 ・平和学習施設としての役割と活動を周知する必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	・回天及び記念館の活動を知ってもらうための教室や講座をH27年度から実施しており、今後も継続していく。また、取り組みについて情報発信を行い、更なる入館者の増加を図っていく。 ・H28年度からスタッフが1名増となったが、永続的に運営できる体制と人材の確保を図っていく。	評価責任者コメント	平和の尊さや戦争の悲惨さを考える機会を提供する平和学習施設であり、周南市の特色ある施設として知名度の向上と展示解説等を実施するためのスタッフ体制の維持に努める。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
回天に関する史実を来館者等にわかりやすく伝えるため説明看板を設置する。 回天記念館を知ってもらい来館者増に繋げるためHPをリニューアルするとともに、引き続き親子教室等を開催する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	入館者数:17,000人	・入館者数:16,690人 ・問い合わせ対応及び展示品の解説と更新 ・嘱託等の雇用、契約、経理事務等	2,974		0.30	4.00
				否			
②	平和学習啓発活動の実施	平和の尊さと戦争の悲惨さについて考える機会を提供する。	・夏休み親子教室及び回天記念館講座(4回シリーズ)の実施 ・団体客に対して講話の実施	4,828		0.13	
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	132045	事務事業名	回天記念館整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200203	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)平和発信の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	来館者	事業の目的 (意図)	来館者に安全で快適に訪れてもらうことができる。
事業の内容 (手段)	来館者が訪れやすいように記念館及び周辺の整備を実施する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
回天記念館周辺整備工事	来館者の安全と来館しやすい 環境の整備				—	記念館周辺整備工事	記念館軒裏改修工事
					—	記念館周辺整備工事	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	0	20,000	4,216	0	0
(予算額)	うち一財	千円	0	0	4,216	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	0	18,090		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	56			
	正職員人件費	千円	0	963		整備予定なし	
	人工数	人	0.00	0.13	0.15		
	支出コスト	千円	決) 0	決) 19,053			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	戦後70年を機に、H27年度に記念館周辺の整備工事を実施した。		課題・問題点	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 施設の老朽化やバリアフリー化等に対応するために計画的な整備が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	H28年度は記念館の軒裏改修工事を実施することとしており、施設の長寿命化と良好な展示環境等を維持するための整備を計画的に実施していく。		評価責任者コメント	平和の尊さや戦争の悲惨さを考える機会を提供する周南市の特色ある施設であることから、施設の長寿命化を図るとともに、訪れやすい環境の整備を適切な時期に実施するよう努める。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
整備予定なし。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の整備	来館者に安全で快適に訪れてもらう。	・前庭に園路を整備する。 ・駐車場を整備する。 ・記念館までの坂道に手すりを設置する。 ・記念館の周りに猪侵入防止柵を設置する。等	18,090		0.13	
②				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	132059	事務事業名	尾崎記念集会所管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的 (意図)	地域のふれあい活動及び芸術にふれる機会を創出し、利用者の増加を図る。
事業の内容 (手段)	・効率的な管理運営を行う。 ・尾崎正章氏の小作品を鑑賞する機会を提供する。 尾崎正章氏より寄贈された病院建物(大正13年築)を改修し、平成5年11月開館。休館日:月曜・祝日、年末年始。入館料:無料		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
利用者数		尾崎記念集会所の年間利用者数 ※H26は3か月閉館	人	目標値	1,600.0	1,600.0	1,600.0
				実績値	1,042.0	1,546.0	
				達成度(%)	65.1%	96.6%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	600	590	587	581
うち一財		千円	599	589	586	580	580
(決算額)	直接事業費	千円	12,771	562		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	5,070	561			
	正職員人件費	千円	148	74			
	人工数	人	0.02	0.01	0.05		
	支出コスト	千円	決) 12,919	決) 636			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成7年度に郷土美術資料館が開館(尾崎正章作品を常時展示)した。平成14年度には福川地区コミュニティセンターが開館した。平成20年度以降、市民団体が読み聞かせ活動を実施(福川小学校から移動)している。平成26年度に、アトリエ兼住宅を解体した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 施設の老朽化に伴う改修の必要性や解体について、将来検討するとともに、実施の際は利用者との合意形成が必要となる。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の大規模改修には多額の経費が必要となることから、困難と考えるため、施設点検マニュアルに沿って状況を確認しながら、解体も視野に入れ利用者と協議を行いながら検討する。	評価責任者コメント	施設の老朽化に伴い、将来的には廃止も視野に入れた検討をする必要があるが、それまでの間は適切な管理に努める。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
大規模な改修等は困難なため、管理業務受託者と連絡を密に取り、安全上の問題等が生じないように努める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	利用者数:1,600人	・利用者:1,546人 ・施設の管理運営 ・利用者への対応	562		0.01	
②				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151003	事務事業名	文化振興一般事務費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的 (意図)	文化振興事務の円滑化を図る。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興に係る事務を円滑に進める。 文化振興財団、文化協会等の文化関係団体との連携を深める。 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
後援件数		年間後援等名義使用承認件数	件	目標値	60.0	60.0	60.0
				実績値	38.0	46.0	
				達成度(%)	63.3%	76.7%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	426	514	555	642
うち一財		千円	426	514	555	642	555
(決算額)	直接事業費	千円	993	436		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	993	436			
	正職員人件費	千円	5,694	2,962			
	人工数	人	0.77	0.40	0.32		
	支出コスト	千円	決) 6,687	決) 3,398			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度の機構改革に伴い、社会教育一般事務費から分離設定。 平成25年度から市長部局に移管。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 文化振興施策を実施するうえで、広く文化芸術に関する情報を収集し、文化振興財団等と連携を密にとる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 一般事務のため、目標の数値化が困難である。現指標は受動的要素が強く目標値の見直しを考える必要があるため。
	事務事業の方向性	施設管理のみならず、市民や団体の文化活動を支援するとともに、ソフト事業の充実を図っていくように、文化振興の担い手として期待する文化振興財団を育成していく。	評価責任者コメント	文化振興財団を育成していくとともに、財団と文化協会との連携も視野に市全体の文化振興の担い手として組織強化を検討・支援する。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要最小限の庶務経費に係る予算措置である。 文化振興財団と連携しながら、次年度の特別展(林忠彦展の予定)の準備等を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	文化振興の一般事務	後援等名義承認件数:60件	<ul style="list-style-type: none"> 後援等名義承認件数:46件 各種照会回答、大会挨拶及び表敬対応等の事務一般 	204		0.30	
				否			
②	文化振興の検討	文化振興財団との連携	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興事業に係る事務 	232		0.10	
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151008	事務事業名	市美術展開催費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民及び応募資格を有する人	事業の目的 (意図)	広く一般から作品を募ることで、市民の創作活動を促し美術に対する関心を高めるとともに、鑑賞を通して市民文化の振興を図る。
事業の内容 (手段)	周南市美術展の開催 平面・立体・書・写真の4部門で審査は公開、出品は一人1部門2点まで(出品料:1点目1,000円、2点目700円) 美術博物館を会場に例年10月に開催(前期後期各5日間)し、観覧料は無料		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	出品点数	市美術展に出品された点数	点	目標値		300.0	300.0
実績値					278.0	336.0	
達成度(%)					92.7%	112.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,501	1,446	1,468	1,504
うち一財		千円	1,256	1,187	1,198	1,211	1,211
(決算額)	直接事業費	千円	1,472	1,438		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,213	1,129			
	正職員人件費	千円	1,553	1,111			
	人工数	人	0.21	0.15	0.27		
	支出コスト	千円	決) 3,025	決) 2,549			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成15年度から出品料を徴収して、入選及び落選を設けたコンテスト方式に改め、応募作品のレベル向上を図っている。また出品数の増加を図るため、平成22年度から一人1部門につき2点出品を可能とした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・出品点数について部門間のアンバランスを解消するとともに増加を図る仕組みを検討する必要がある。 ・文化振興財団との共催事業とすることを協議する。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	継続して目標を達成できるように、開催要項等の改善に取り組んでいく必要があるため。
	事務事業の方向性	毎年、有識者で組織される運営委員会を開催し、公平な運営と市民の目標・励みとなるように開催要項の改善を重ねており、今後も継続実施していく。	評価責任者コメント	市民や文化協会、市民文化団体等の日頃の取り組みの成果を発表する場として、出品点数が増える仕組みを継続的に検討する。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 今後さらに市民の目標とされる展覧会となるよう付加価値の構築など将来に向けて検討を続けていく。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	市美展の開催	出品点数:300点	・出品点数:336点 ・募集要項の作成、作品の搬入出、運営委員会・審査会・表彰式・展覧会の開催	1,438		0.15	
②				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151011	事務事業名	文化行事等開催費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	山口県総合芸術文化祭・分野別フェスティバル事業を周南市で実施する団体	事業の目的 (意図)	県事業と連携し総合文化祭事業・分野別フェスティバルの開催地としての支援を行い、市民が芸術に触れる機会を提供する。
事業の内容 (手段)	山口県総合芸術文化祭・分野別フェスティバル事業を周南市で実施する団体に対して補助支援を実施する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					補助金額	山口県総合芸術文化祭・分野別フェスティバルの事業実施団体に交付される補助金	金額
					実績値	—	200,000.0
					達成度(%)	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	0	200	0	500
うち一財		千円	0	200	0	500	200
(決算額)	直接事業費	千円	0	200		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	200			
	正職員人件費	千円	0	74			
	人工数	人	0.00	0.01	0.00		
	支出コスト	千円	決) 0	決) 274			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成18年度の国民文化祭・やまぐち2006の成果を継承し、平成19年度から山口県総合芸術文化祭が開催されている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 県及び県文化団体との情報交換が必要である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	周南市を開催地とする事業が決まれば、引き続き支援を行う。	評価責任者コメント	県と情報交換を行いながら、必要な時に支援を行う。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
山口県総合芸術文化祭・分野別フェスティバルに係る事業を本市で開催する団体に対し支援を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	大規模行事等の支援	山口県総合芸術文化祭の分野別フェスティバル開催支援	山口県音楽協会による山口県芸術演奏会の開催支援	200		0.01	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151014	事務事業名	文化会館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的(意図)	文化会館の良好な活動環境と快適な鑑賞空間を維持し、質の高い舞台芸術・展覧会・講演会などを提供することで利用者数の増加を図る。
事業の内容(手段)	文化会館を安全かつ効率的に管理運営し、舞台芸術等の鑑賞機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~32)。休館日:第1・3水曜日・年末年始。開館時間:9時~22時。 施設:大ホール(1800人収容)、練習室、リハーサル室、展示室等		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					使用率	開館日のうち使用された日の割合	%
実績値	69.3	71.5					
達成度(%)	99.0%	102.1%					

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	124,590	126,249	128,771	130,886
うち一財		千円	75,027	76,686	79,391	83,069	83,817
(決算額)	直接事業費	千円	124,999	126,249		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	76,967	79,024		舞台照明・ホール音響設備保守点検委託料の増	
	正職員人件費	千円	518	1,111			
	人工数	人	0.07	0.15	0.20		
	支出コスト	千円	決) 125,517	決) 127,360			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成18年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。 周南市文化振興財団は平成25年度から公益財団法人に移行した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 市民文化の振興のために、施設を利用した公益事業と収益事業の効率的な管理運営が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	継続して目標値を達成するために、文化振興財団と連携し改善に努めていく必要があるため。
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団が有するノウハウを活かせるように、定期的な連絡調整会議を継続実施し、指導も含め緊密な連携を図る。	評価責任者コメント	公益財団法人として一定の制約はあるが、経営という視点で、施設の利用者(出演者、観覧者等)へのサービスやチケットの販売促進など営業努力が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち2年目)において、債務負担行為による予算措置をした。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	使用率:70%	・使用率:71.5%、利用者数:290,596人 ・財団との連絡調整、年度協定、歳入調定、各種許可及び報告受理等	126,249		0.15	
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151017	事務事業名	文化会館整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	施設利用者	事業の目的 (意図)	文化会館を鑑賞及び発表の場として、利用者が安心して快適に利用できる環境を提供する。
事業の内容 (手段)	計画的な改修を行い、施設と設備の長寿命化を図る。 開館:昭和57年		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	文化会館整備(工事・修繕)	良好な活動環境と快適な鑑賞空間を維持する整備			目標値	非常用蓄電池取替他	リハーサル室の床張替及び照明改修
実績値					非常用蓄電池取替、ヒートポンプ分解修繕	リハーサル室の床張替及び照明改修	
達成度(%)							

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	8,085	7,057	72,378	12,552
うち一財		千円	8,085	7,057	16,889	3,252	16,692
(決算額)	直接事業費	千円	8,030	6,088		対28年度増減理由 対29年度増減理由	中央監視盤改修、高架水槽改修工事等
	うち一財	千円	8,030	6,088			
	正職員人件費	千円	148	518			
	人工数	人	0.02	0.07	0.15		
	支出コスト	千円	決) 8,178	決) 6,606			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和57年に開館し、平成12年から5年をかけて大規模修繕を行った。指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が実施している。	課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 建設から30年以上が経過し、更新を要する設備や施設の老朽化が見られるため、観覧者や施設利用者に安全で快適に使用していただくために整備が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	周南市の文化拠点施設の一つであり、施設の長寿命化を図るとともに、時代の変化や利用者ニーズに即した計画的な改修を、文化振興財団や建築課と協議し、財政課と相談しながら実施する。	評価責任者コメント	ライフサイクルコストを踏まえた改修・修繕について、計画性のある対応が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
施設を長期的に維持し、利用者に快適な環境を提供するため改修を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の整備	利用者に良好で快適な環境を提供する。	リハーサル室の床張替修繕及び照明改修工事	6,088 可		0.07	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151020	事務事業名	市民館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的 (意図)	施設の適切な管理運営を行い、文化・芸術活動の場を提供する。
事業の内容 (手段)	平成27年12月末の施設廃止まで、安全な施設管理に努めた。 指定管理者:周南市文化振興財団。開館:昭和31年。休館日:年末年始。開館時間:8時~22時。 施設:大ホール(1,069人収容)、小ホール(260人)、会議室7室等		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	利用者数	市民館の年間利用者数 ※H27は9か月間	人	目標値	145,000.0	108,750.0	-
			実績値	168,622.0	113,755.0		
			達成度(%)	116.3%	104.6%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	56,060	45,341	-	-
	うち一財	千円	43,132	35,644	-	-	-
(決算額)	直接事業費	千円	56,177	45,341		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	42,863	36,084			
	正職員人件費	千円	148	2,740			
	人工数	人	0.02	0.37	0.00		
	支出コスト	千円	決) 56,325	決) 48,081			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成18年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。平成22年度の周南市版事業仕分において廃止判定を受け、平成23年度以降は単年度で指定管理を行い、平成27年12月末をもって施設を廃止した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	D A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設廃止に伴い事業終了	評価責任者コメント	管理運営事業の完了

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	利用者数:108,750人(9か月)	・利用者数:113,755人、利用率:72% ・文化振興財団との連絡調整、年度協定、歳入調定、閉館に伴う事務及び作業等	45,341 可		0.37	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151030	事務事業名	文化振興団体助成事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市内文化振興団体(周南市文化振興財団、周南文化協会、周南郷土伝統芸能保存協会)	事業の目的(意図)	市民の文化活動を振興する団体を支援することで、市民が文化芸術活動に触れる機会を増加させる。
事業の内容(手段)	各団体の運営及び事業に対して補助支援を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
自主企画事業入場者数	文化振興財団による自主企画事業の入場者数	人	目標値	10,000.0	10,000.0	1,000.0	
			実績値	10,062.0	9,008.0		
			達成度(%)	100.6%	90.1%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	24,329	27,640	27,612	31,388
うち一財		千円	24,329	27,640	27,612	29,388	27,392
(決算額)	直接事業費	千円	24,329	26,803		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	24,329	26,803		各団体の節目の年に実施する特別な事業に対する支援	節目の年が経過
	正職員人件費	千円	592	1,111			
	人工数	人	0.08	0.15	0.24		
	支出コスト	千円	決) 24,921	決) 27,914			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	文化振興財団に対する退職手当精算補助は平成22年度で完了し、平成25年度から文化協会等への補助支援事業を統合して、文化振興団体助成事業とした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 各団体の運営体制と事業内容等を精査しつつ、適切に支援する必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	各団体の運営強化及び特色ある事業に対して支援を継続する。	評価責任者コメント	専門性と実績を有する文化振興財団が行う特色ある事業を支援することは、市民文化の振興に寄与することから、継続的な支援が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
伝統芸能の継承のために記録映像作成や特別な活動を行う団体に対し支援を行う。 また、文化協会の事務局機能強化のための支援を継続する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	文化振興財団運営の補助	文化振興財団の運営を支援し、市の文化振興を図る。	連絡調整、補助金交付	22,416	0.01		
				否			
②	文化協会活動の補助	文化協会の活動を支援し、市民の文化活動の活性化を図る。	連絡調整、補助金交付	2,558	0.01		
				否			
③	伝統文化活性化事業の補助	郷土伝統芸能保存協会の活動を支援し、市民の歴史的な文化活動の維持を図る。	連絡調整、補助金交付	1,307	0.01		
				否			
④	伝統芸能の記録作成	伝統芸能の継承を支援する。	映像記録の作成	522	0.12		
				否			
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151032	事務事業名	美術博物館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的(意図)	快適な鑑賞空間で優れた美術・芸術にふれる機会を提供し、美術文化に対する関心を高めるとともに、利用者の増加を図る。
事業の内容(手段)	美術博物館の適切かつ効率的な管理運営を行い、郷土の歴史や質の高い美術の鑑賞機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~32)。休館日:月曜日・年末年始。開館時間:9時30分~17時。 施設:展示室5・収蔵庫他		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数	美術博物館の年間入館者数	人	目標値	115,000.0	110,000.0	110,000.0
			実績値	104,688.0	93,308.0		
			達成度(%)		91.0%	84.8%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	125,345	122,796	137,359	133,779
うち一財		千円	121,879	119,330	134,263	130,862	134,184
(決算額)	直接事業費	千円	125,345	122,715		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	122,758	119,388		燻蒸委託料の減	燻蒸委託料が増
	正職員人件費	千円	444	1,111			
	人工数	人	0.06	0.15	0.20		
	支出コスト	千円	決) 125,789	決) 123,826			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成18年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。 周南市文化振興財団は平成25年度から公益財団法人に移行した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 指定管理者である文化振興財団に対して、常設展示の充実など施設の機能を生かした普及事業について積極的に取り組むよう指導するとともに連携を図る必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団が有するノウハウを活かせるように、定期的な連絡調整会議を継続実施し、指導も含め緊密な連携を図っていく。	評価責任者コメント	専門性は高く、収益性は低いことや、収蔵品(市の財産)を有することなどから、指定管理者制度を活用し、連携を密に取りながら効率的な施設の管理運営が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち2年目)において、債務負担行為による予算措置をした。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	入館者数:110,000人	・入館者数:93,308人、展覧会数(うち一般貸出):24件(15件) ・財団との連絡調整、年度協定等	122,715		0.15	
②				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151035	事務事業名	美術博物館資料収集事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	美術品等	事業の目的 (意図)	後世に残すべき特色のある芸術品や歴史を伝える資料などを収集し、市民共有の財産として展覧会を開催する。
事業の内容 (手段)	郷土ゆかりの優れた作家の作品や特色ある芸術品、郷土に関わりのある歴史資料などを、資料収集委員会の承認を経て収集する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
新規収集点数	寄贈等を含む新規に収蔵する 点数	点	点	目標値	3.0	3.0	3.0
					実績値	15.0	10.0
					達成度(%)	500.0%	333.3%

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	5,439	4,441	4,441	4,441
うち一財		千円	5,439	4,441	4,441	4,441	4,441
(決算額)	直接事業費	千円	5,381	4,410		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	5,381	4,410			
	正職員人件費	千円	813	296			
	人工数	人	0.11	0.04	0.09		
	支出コスト	千円	決) 6,194	決) 4,706			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成15年度以降は購入を中止していたが、平成21年度から再開した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 文化振興財団と連携し、計画的な収集と活用に努める必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	収集計画の見直しも含め、文化振興財団と連携し、収集の方針と収集品の活用について検討しながら進めていく。	評価責任者コメント	絵画、資料等の収集は必要であるが、収蔵品の定期的な展示など積極的な活用方法を検討する必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
適切な収集及び活用が図られるように文化振興財団と定期的に連絡調整を行い、資料収集委員会を開催する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	資料の収集	新規収集点数:3点	・収集点数:10点(寄贈を含む) ・資料収集委員会の開催、寄付採納、文化振興財団との連絡調整等	4,037 可		0.03	
②	資料の調査	所蔵資料の適切な管理と活用	・収蔵資料の撮影及びデジタルデータ化 ・実績:144点	373 可		0.01	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151039	事務事業名	美術博物館特別展覧会等開催事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的(意図)	本市にゆかりのある作家の顕彰や関連する内容を、調査研究し独自に企画した本市ならではの意義ある展覧会を開催することで、美術に対して市民等の関心を高める。
事業の内容(手段)	周南市出身の詩人まど・みちおの詩と絵画の世界を紹介する特別展「まど・みちおのうちゅう」及び地元で活躍する作家の近作を紹介する秀作美術展「しゅうなんアート・ナウ2015」を開催した。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	特別展観覧者数	特別展の観覧者数	人	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0
			実績値	9,616.0	5,786.0		
			達成度(%)		120.2%	72.3%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,510	11,394	11,579	11,999
うち一財		千円	6,680	6,294	6,814	4,469	9,470
(決算額)	直接事業費	千円	11,508	11,393		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	6,795	8,365			林忠彦生誕100年となり、林忠彦展を開催予定
	正職員人件費	千円	887	741			
	人工数	人	0.12	0.10	0.15		
	支出コスト	千円	決) 12,395	決) 12,134			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	美術博物館の開館以来、年に1回、周南市ならではの質の高い特別展を開催している。「尾崎正章」「宮崎進」「まど・みちお」「徳山毛利家」「児玉源太郎」等	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 アート・ナウ展は、出品依頼作家の増加から、展示スペース等の問題があり、展覧会内容を見直すなど関係者との協議が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 特別展は、周南市ゆかりの作家を顕彰する意味も含めているため。特別展の企画は、他県での巡回展開催も決まり、内容は高い評価を受けているため。
	事務事業の方向性	特別展の開催は、文化振興財団に委託しているが、調査研究も必要となることから計画的なテーマの選定と予算措置を行っていく。また、アート・ナウ展は、関係者と協議し、軽微な変更を加えながら開催方法を見直していく。	評価責任者コメント	特別展は、計画的に周南市ならではのテーマを選定し、企画力の高いものとなるように調査研究に努める必要がある。アート・ナウ展は、開催方法の見直しなどを継続して検討する。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
質の高い本市ならではの展覧会となるように、文化振興財団と連携しテーマ選定など事業内容を検討した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	特別展の開催	観覧者数:8,000人	観覧者数:5,786人	11,000		0.01	
				可			
②	アート・ナウ展の開催	地元作家のレベルの向上とレベルの高い作品鑑賞の場を提供する。	・観覧者数:1,727人 ・出展依頼、目録作成、作品の搬入出、展覧会内容の見直し等	393		0.09	
				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151047	事務事業名	美術博物館企画事業助成事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的(意図)	全国発信事業を実施し、本市の文化的知名度及び市民の誇りを高める。また、地方において観覧機会の少ない大規模あるいは意義ある展覧会を開催し来館者の増加を図る。
事業の内容(手段)	全国発信事業である「林忠彦賞」の運営及び、文化振興財団主催の企画展覧会「滝平二郎の世界展」「みんなの大新幹線展」及び「周南人物列伝」等の開催支援		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
企画事業観覧者数	企画事業全般の観覧者及び参加者		人	26年度	35,000.0	35,000.0	35,000.0
				27年度	40,253.0	40,446.0	
				28年度	115.0%	115.6%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	14,457	14,323	14,353	13,119
うち一財		千円	14,457	14,323	14,353	13,119	14,400
(決算額)	直接事業費	千円	11,299	14,323		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	11,299	14,323		年2回の企画展覧会のうち1回は収益が見込め補助対象外	収益性の高い企画展覧会の開催が可能か未定
	正職員人件費	千円	370	222			
	人工数	人	0.05	0.03	0.03		
	支出コスト	千円	決) 11,669	決) 14,545			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成3年から林忠彦賞を実施しており、文化振興財団が賞のレベル向上に努めている。文化振興財団主催の魅力ある展覧会(年2回)を開館以来開催している。平成24年度から周南人物列伝展を開催している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 文化振興財団に対して、収益も見込める企画展覧会や市民の教育・学術及び文化の向上に寄与する啓発活動としての企画事業に、積極的に取り組むよう指導するとともに、支援する必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	企画展覧会については、補助を必要としない内容を今後検討していく必要があるため。
	事務事業の方向性	「林忠彦賞」は市の知名度や文化的イメージの向上に、企画展覧会及び企画事業は幅広い世代を対象として市民文化の啓発に寄与していることから、引き続き補助を実施するが、補助内容や企画内容については検証を行う。	評価責任者コメント	林忠彦氏を顕彰して創設された全国発信事業であり、関係者への認知度も高まり、継続して実施する必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
文化振興財団と協議し、より高い集客と収益が見込める企画展を企画することで、補助金を見直した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	林忠彦賞企画運営の補助	周南市独自の文化を全国に発信する。	「第24回林忠彦賞」授賞式4月17日(170人)、東京展4月17～23日(観覧者9,490人)、周南展5月15～24日(観覧者1,572人)	9,005 可	0.01		
②	企画展覧会開催の補助	魅力ある美術芸術が市民に提供する。	「滝平二郎の世界展」6月12日～7月26日(観覧者11,411人) 「みんなの大新幹線展」7月31日～9月13日(観覧者16,423人)	3,277 可	0.01		
③	企画事業の補助	市ゆかりの人物を市民にアピールする。	「周南人物列伝4」9月17～27日(観覧者1,311人) 美術博物館講座3回(参加者69人)	2,041 可	0.01		
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151050	事務事業名	美術博物館整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	施設利用者	事業の目的 (意図)	美術博物館の良好な収蔵環境と快適な鑑賞空間を維持し、身近に美術作品を鑑賞できる環境を提供する。
事業の内容 (手段)	計画的な改修を行い、施設と設備の長寿命化を図る。 開館：平成7年		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					美術博物館整備(工事・修繕)	良好な収蔵環境と快適な鑑賞空間を維持する整備	
					実績値	池ろ過装置改修他	屋上防水改修
					達成度(%)		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,193	26,903	14,081	28,805
うち一財		千円	5,154	5,264	14,081	7,305	17,500
(決算額)	直接事業費	千円	11,891	25,165		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	5,852	4,876		防災監視盤改修工事等	EV改修工事等
	正職員人件費	千円	296	1,259			
	人工数	人	0.04	0.17	0.15		
	支出コスト	千円	決) 12,187	決) 26,424			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成7年に開館し、平成27年に開館20周年を迎えた。 指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が実施している。	課題・問題点	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 美術品等を収蔵・展示することから、空調等に細心の注意を払い、年間を通じて適正に温湿度を管理する必要があり、施設・設備の改修・修繕が必要となる。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	周南市の文化拠点施設の一つであり、施設の長寿命化を図るため、文化振興財団や建築課等と協議をし、財政課に相談しながら計画的に改修を実施する。	評価責任者コメント	ライフサイクルコストを踏まえた改修・修繕について、計画性のある対応が必要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
来館者の安全と安心を確保し、快適な鑑賞環境を提供するとともに、施設の長期的な維持のため改修を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の整備	来館者に快適な環境で鑑賞の場を提供する。	屋上防水改修工事	25,165 可		0.17	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151053	事務事業名	郷土美術資料館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的(意図)	郷土美術の鑑賞の機会を提供するとともに、公園内という立地から館を身近に感じてもらえるような事業に取り組み、入館者の増加を図る。
事業の内容(手段)	会期中のコンサート開催や公園イベント時の館前でのグッズ販売など、館の知名度向上に努め、郷土作品を身近で鑑賞できる機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~32)。休館日:月曜日・年末年始。開館時間:9時30分~17時。 施設:展示室4、ロビー・ワークルーム		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	入館者数	郷土美術資料館の年間入館者数	人	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0
実績値				10,416.0	8,292.0		
達成度(%)				130.2%	103.7%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	14,951	12,528	15,491	12,791
うち一財		千円	14,669	12,246	15,215	12,539	15,239
(決算額)	直接事業費	千円	14,951	12,528		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	14,623	12,308		燻蒸委託料の減	燻蒸委託料の増
	正職員人件費	千円	148	148			
	人工数	人	0.02	0.02	0.05		
	支出コスト	千円	決) 15,099	決) 12,676			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成20年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。 周南市文化振興財団は平成25年度から公益財団法人に移行した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 美術博物館との連携や差別化など、独自の企画事業を更に進めるために研究・検討が必要である。また、施設の老朽化や設備の更新など整備が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	継続して目標値を達成するために、文化振興財団と連携し改善に努めていく必要があるため。
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団との定期的な連絡調整会議を継続実施し、指導も含め緊密な連携を図り、立地を生かした事業など館の運営方針を検討していく。	評価責任者コメント	効果・効率的な運営方法の検討を続けていく必要がある。 また、空調など施設設備等の更新なども中長期的な方向性を視野に入れながら対応する必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち2年目)において、債務負担行為による予算措置をした。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	入館者数:8,000人	・入館者数:8,292人、展覧会数(うち一般貸出):6件(1件) ・財団との連絡調整、年度協定等	12,528		0.02	
②				可			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151066	事務事業名	須金和紙センター管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的 (意図)	地域に根ざした伝統文化を伝承・維持するために、和紙作りを体験する機会を提供する。
事業の内容 (手段)	須金和紙振興協議会が定期的に和紙絵教室を開催しているほか、体験学習として紙漉き体験を受け入れている。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	利用者数	須金和紙センターの利用者数	人	目標値	400.0	400.0	400.0
実績値				425.0	393.0		
達成度(%)				106.3%	98.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	404	402	408	415
うち一財		千円	404	402	408	415	415
(決算額)	直接事業費	千円	421	565		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	421	565			
	正職員人件費	千円	74	74			
	人工数	人	0.01	0.01	0.03		
	支出コスト	千円	決) 495	決) 639			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成3年に建築 須金和紙振興協議会(事務局:須金公民館)が定期的な活動を行うほか、紙漉き体験などを受け入れている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 施設の発信力を高めていく方法等について、地元団体及び関係課と協議する必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	地域に伝わる伝統工芸の伝承という観点から、情報発信等について、須金公民館も含め関係団体及び関係課と連携・協議を重ねていく。	評価責任者コメント	須金の地域施設としての視点も持ちながら、施設の設置目的や意義と継続性を関係課や関係団体と協議していく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要最小限の予算措置である。 地元関係団体や支所等と連携を密にし運営する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	利用者数:400人	利用者数:393人 須金和紙振興協議会及び須金支所との 連絡調整、施設管理、井戸ポンプ取替	565 可		0.01	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151075	事務事業名	文化施設等整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市民を含む近隣住民	事業の目的 (意図)	児玉源太郎ゆかりの地を公園的に整備し、郷土ゆかりの人物を紹介する場所として周知を図る。
事業の内容 (手段)	児玉源太郎ゆかりの地を児玉源太郎生誕の地公園として整備した。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	児玉源太郎ゆかりの地整備	児玉源太郎ゆかりの地を公園として整備			目標値		児玉源太郎ゆかりの地整備
				実績値		児玉源太郎ゆかりの地整備	
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,613	16,000	0	-
うち一財		千円	2,613	4,000	0	-	-
(決算額)	直接事業費	千円	2,604	16,498		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,604	4,198			
	正職員人件費	千円	0	815			
	人工数	人	0.00	0.11	0.00		
	支出コスト	千円	決) 2,604	決) 17,313			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度に土地の寄贈を受ける。 平成27年度に公園として整備する。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 児玉源太郎産湯の井戸と、整備した公園機能部分については、所管課が異なることから、連携して管理する必要がある。
	評価	D A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	児玉源太郎ゆかりの地を、歴史にふれる憩いの場となるように公園として整備したことから、文化的な資源としての活用を、美術博物館や図書館などと連携し検討していく。	評価責任者コメント	整備事業完了

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の整備	児玉源太郎ゆかりの地を公園として整備	児玉源太郎ゆかりの地整備工事	16,498		0.11	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017056	事務事業名	スポーツ振興一般事務費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民及び各大会等参加者	事業の目的 (意図)	スポーツ推進計画の基本理念である「する」「観る」「支える(育てる)」をスポーツ活動を支援する観点から、市民が取り組む日常のスポーツ活動を積極的にサポートし、健康で活気に満ちたまちづくりに繋げる。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。 ●学校施設のスポーツ開放を実施する。 ●中国山口駅伝に対する助成を行う。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	後援・共催件数	達成件数/目標件数	%	目標値	150.0	150.0	150.0
			実績値	136.0	128.0		
			達成度(%)	90.7%	85.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,371	944	2,073	1,655
うち一財		千円	1,371	944	2,073	1,655	1,655
(決算額)	直接事業費	千円	1,163	837		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,163	837			
	正職員人件費	千円	2,810	2,814			
	人工数	人	0.38	0.38	0.51		
	支出コスト	千円	決) 3,973	決) 3,651			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	スポーツを通じた交流を促進し、市民の一体感や活力を醸成するうえで、学校施設や企業施設等の活用、スポーツ団体やボランティアを含めた対応が必要となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 スポーツ開放について、市内で統一的な事務処理となっていない。申請者側の事務処理手続きの不便さもあるため、総合支所・教育委員会と連携して効率的な事務処理を検討することが必要。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	スポーツ振興だけでなく本市の活性化の一助となる世界大会等キャンプ地誘致活動も行っていく。	評価責任者コメント	一般的な事務であるが、少子化や超高齢社会を迎える中で、新たな施設(ハード)を整備することは避けるべきであるが、人と人、地域と地域を繋げられるよう、学校や企業施設、スポーツ団体やボランティアの活用を進めること。また、スポーツコンベンションと位置付けられる(経済効果が発揮できる仕掛け)取り組みを促進すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
複写機等使用料、印刷製本費等の事務費を精査。また、トランシーバーを購入し、大会やイベントの円滑な運営、非常時での迅速な対応を行っていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	スポーツ振興一般事務	市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。	スポーツ振興を促進するための共催・後援件数150件	687 否	0.19		
②	スポーツ開放	学校施設を利用したスポーツ活動の推進	施設を有効活用し、住民ニーズを満たすためのスポーツ開放施設数32施設及び利用団体数220団体	50 否	0.10		
③	中国山口駅伝	大会運営に対する助成(補助金)	大会運営を円滑にし、市民に身近な大会になるようサポートする(大会参加者数(観衆、ボランティア等を含む)1,000人)	100 可	0.07		
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017057	事務事業名	体育協会関連事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民及び体育協会加盟団体の構成員	事業の目的(意図)	山口県体育大会、国体等への参加も含め、全国規模の大会に出場するなど、競技力等の向上が図られる。 (県体・国体への選手等派遣 H27目標:950人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民等のスポーツへの関心を高め競技力の向上を図るため、体育協会へ運営費を補助 ●スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	山口県・国民体育大会への選手派遣人数	達成人数/目標人数	%	目標値	950.0	950.0	950.0
			実績値	774.0	805.0		
			達成度(%)	81.5%	84.7%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	7,549	7,431	9,710	15,074
うち一財		千円	7,549	7,431	9,710	15,074	15,074
(決算額)	直接事業費	千円	7,399	7,431		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	7,399	7,431		体育協会定年退職者の再雇用人件費1名分増	
	正職員人件費	千円	366	444		退職給与引当金を本事業から計上	
	人工数	人	0.05	0.06	0.09		
	支出コスト	千円	決) 7,765	決) 7,875			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	公益法人制度改革により、平成25年4月に財団法人周南市体育協会から公益財団法人周南市体育協会として公益認定された。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 結果的に事業目標は達成しているが、本事業の内容と手法が競技力向上のために有効に機能しているかしっかり見定める必要がある。
	評価	C A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設等の補修整備を計画的に進め、体育協会及び加盟団体がスポーツ振興に積極的に取り組める環境作りを進める。	評価責任者コメント	国体等の派遣者数は増えたが、引き続き競技力向上の中心的役割を果たす体育協会のスキルの向上を図るとともに、インセンティブを高め、自主的活動を促進する仕組みを検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度末体育協会の退職者1名。体育協会の組織力を維持しスキルの伝承を行うとともに、雇用と年金の接続の適切な対応を行うため、必要な再雇用人件費等を計上。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	周南市体育協会運営費補助金	県体育大会、国体等や、全国規模の大会に出場する選手を増やす。	市民等のスポーツへの関心を高め競技力の向上を図るため、体育協会へ運営費を補助	5,931		0.03	
				否			
②	全国大会等誘致開催補助金	大規模大会を誘致することで、観る人、支える人に重点をおいたスポーツの推進に取り組む。	スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助	1,500		0.03	
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017060	事務事業名	スポーツ少年団関連事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	スポーツ少年団活動を活性化することで、子どもを中心に幅広い年代層でのスポーツへの参画を推進できる。 (小学3～6年生のスポーツ少年団加入率 H27目標:50%)
事業の内容 (手段)	●青少年の健全育成を目的に、周南市スポーツ少年団本部に対し、加盟団体の活動を推進するための支援		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	小学3～6年生のスポーツ少年 団加入率	小学3～6年生/市内の小学3 ～6年生の児童数	%	目標値	50.0	50.0	50.0
			実績値	49.0	46.0		
			達成度(%)	98.0%	92.0%		

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,659	2,575	2,486	2,504
うち一財		千円	2,659	2,575	2,486	2,504	2,504
(決算額)	直接事業費	千円	2,658	2,575		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,658	2,575			
	正職員人件費	千円	222	222			
	人工数	人	0.03	0.03	0.04		
	支出コスト	千円	決) 2,880	決) 2,797			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	事業開始以来スポーツ少年団の活動を補助金という手法で推進している。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 少子化、周辺地域の人口減少の影響もあり加入者が減少している。市と市スポーツ少年団本部が連携して、少年団への加入に向けた取り組みや、指導者の研修等を積極的に行う必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	地域の枠を超えた活動や幼少時から多様なスポーツに親しめる団体の活動ができるよう支援していく必要がある。現状の課題を踏まえ、効果的な助成内容となるよう事業内容の再検証を行う。	評価 責任者 コメント	概ね目標どおり達成したが、団員数の減少に対応する必要がある。複数の競技をする団や人数の減少により、地域間で連合をせざるをえない団を助成する仕組みなど検討されたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度の団員は若干増加しているものの長期的には減少傾向である。有効な手法を体育協会と連携を密にして対応していく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	スポーツ少年団活動費補助金	スポーツ少年団活動を補助し、子どもの体力づくりを推進する。	青少年の健全育成を目的に、周南市スポーツ少年団本部に対し活動費を補助する。	2,575	否	0.03	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017070	事務事業名	全国高校総体開催事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民及び全国からの来市者者	事業の目的(意図)	平成28年度全国高等学校総合体育大会のハンドボール競技大会を周南市・下松市・光市の3市で共同開催することで、市民のスポーツに対する意識の高揚及び多くの来市者を迎えることでの賑わいの創出を図る。
事業の内容(手段)	【事業内容】 平成28年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会の開催準備及び大会運営を行うため、共同開催市(周南市・下松市・光市)及び関係団体で組織する実行委員会への交付金 (大会概要) ・開催期日 平成28年8月1日(月)から7日(日)まで ・周南市会場: 総合スポーツセンター、鹿野総合体育館 ・実行委員会予算: 県実行委員会補助金〔補助対象額2/3補助〕 3市実行委員会交付金〔3市共通経費は1/3、各市の施設・設備使用料、仮設空調設備などの特別な経費は各市で負担〕 協賛金及び負担金〔大会協賛企業による協賛金と全国高体連及び県高体連負担金〕		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
参加者数		選手・監督 1,630人、大会役員 150人、観客(延べ人数) 21,000人)	事業			22,780.0	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円		290	4,604	0
うち一財		千円		290	4,604	0	0
(決算額)	直接事業費	千円		279		対28年度増減理由 事業終了による。	対29年度増減理由
	うち一財	千円		279			
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
	支出コスト	千円	決) 0	決) 279			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成25年3月にハンドボール競技大会の開催市が、周南市、下松市、光市の3市共同開催に決定し、平成26年7月の実行委員会が設立、平成27年12月に設立総会及び第1回実行委員会総会を開催し、平成28年5月に第2回実行委員会総会を開催し準備を進めている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 開催時期の関係で、(8月1日～7日)熱中症対策として空調設備を備えていない会場(鹿野・下松)に仮設空調設備を設置に係る仕様及び経費の検討
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市内の活性化や全国への周南市の情報発信を図り、3市での地域連携による大規模大会開催における施設の有効活用及び来市者への歓迎体制のための関係団体等との連携の確立	評価責任者コメント	3市での共同開催のため、おもてなし及び試合運営など、統一的な対応を図り、盛会となるよう大会運営に万全を期すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
事業終了により予算計上なし。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	実行委員会運営事務	平成28年度全国高校総体ハンドボール競技実行委員会を4回開催(解散総会含む)	H27.12 設立総会、第1回総会 H28.5 第2回総会 H28.10 第3回総会(解散総会予定)	79 否	0.31	0.50	
②	高校総体関連団体連携事務	全国・県高体連、県実行委員会、協賛団体、観光・コンベンション関係団体との連携	開催し・関係団体合同会議、協賛企業説明会及びk市場視察実施、売店等説明会実施、	50 否	0.21	0.40	
③	大会開催準備事業	会場準備及び物品調達、役員補助員確保、輸送計画・実施、広報・告知実施	会場設営計画策定、必要物品調査、役員・補助員(競技・運営)調整確保、輸送計画策定実施告知看板、広報掲載	100 否	0.41	0.10	
④	開催市3市協議	3市協議会(定例月/1、臨時随時)開催	協議開催	50 否	0.11		
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017080	事務事業名	スポーツ交流地域活性化推進事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	スポーツ交流による地域活性化を推進するため、トップアスリートとの交流機会の創出と、スポーツボランティアの育成と、大規模大会でのおもてなし事業に取り組む。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツボランティア養成講習会の実施 ●スポーツボランティアを活用した「おもてなし事業」にかかる業務 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	トップアスリート交流事業参加者	達成項目/目標項目	%	目標値		300.0	500.0
			実績値		226.0		
			達成度(%)		75.3%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円		1,860	1,920	2,100
うち一財		千円		930	960	1,050	1,050
(決算額)	直接事業費	千円		1,228		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円		614			
	正職員人件費	千円	0	1,037			
	人工数	人		0.14	0.11		
	支出コスト	千円	決) 0	決) 2,265			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H26まで実施していた「スポーツセミナー開催事業費」、「スポーツボランティア養成事業費」、「我がまちスポーツ推進事業費」を継承した。スポーツ交流人口拡大に向けて、地域活性化を推進する。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツボランティアの仕事への理解を深め、登録者数の増加を図る必要がある。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	トップレベルの選手や関係者に触れる機会を創出しスポーツ人口の拡大や競技力の向上につなげる。 また、おもてなし事業を実施することにより、大会の満足度を高め、更なる大規模大会の誘致につなげる。	評価責任者コメント	大規模大会の開催やスポーツコンベンションを図るうえでも、スポーツ活動を「支える」立場である、指導者、団体及びスポーツボランティア等を育成し、連携できる体制づくりを進められたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
県の助成を積極的に活用し、トップレベルで活躍する選手の指導や講演により子どもにも夢を与え、地域を元気づける機会を提供する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	トップアスリート交流業務	トップアスリートの講演会を通して、「する」「観る」「支える」スポーツへの関心を高める。	トップアスリート関係者による講演会の開催(参加者226人)	1,229		0.14	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161011	事務事業名	社会体育表彰事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民及び本市を活動拠点とする団体	事業の目的 (意図)	県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体を表彰することでスポーツの奨励、競技力の向上が図られる。
事業の内容 (手段)	●スポーツへの関心、競技力の向上を図るため、県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体に対し表彰を実施 受賞者は、要綱及び基準(内規)に基づき決定する。 (公財)周南市体育協会では、団体役員や指導者などの功労者表彰を主とした表彰を行っており、表彰式は周南市と周南市体育協会とが共同で実施している。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	受賞者数	達成項目/目標項目	%	目標値	500.0	500.0	0.0
			実績値	559.0	449.0		
			達成度(%)	111.8%	89.8%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	608	590	0	0
うち一財		千円	608	590	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	637	584		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	637	584			
	正職員人件費	千円	1,331	1,333			
	人工数	人	0.18	0.18	0.00		
	支出コスト	千円	決) 1,968	決) 1,917			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	国体開催で選手育成強化の結果、受賞者の増加がみられたが、今後は、受賞者が減少しないよう維持することが必要。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 表彰漏れがないよう体育協会と連携し加盟団体、学校等への周知に努める必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	スポーツの奨励には有効な事業であり、引き続き事業を継続していく。	評価責任者コメント	引き続き適切な事業執行をされたい。また、事業の統合等について検討をすること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
本事業については平成28年度からスポーツ奨励事業費へ組み替えた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	スポーツ栄光賞授与式	優秀な成績をあげた選手・団体を表彰することでスポーツの奨励、競技力の向上を図る。	県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体に対し表彰を実施(500人)	584		0.18	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161008	事務事業名	全国大会等出場祝金事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民及び本市を活動拠点とする団体	事業の目的 (意図)	全国大会等出場への祝意を表すことで、スポーツを奨励し、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。
事業の内容 (手段)	●スポーツの奨励、発展を目的に、全国大会等へ出場する市民等に対し祝意を表し、祝金を交付		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	全国大会出場者	達成項目/目標項目	%	目標値	500.0	500.0	0.0
			実績値	482.0	513.0		
			達成度(%)				

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,787	1,800	0	0
うち一財		千円	1,787	1,800	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	1,515	6,900		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,515	6,900			
	正職員人件費	千円	296	296			
	人工数	人	0.04	0.04	0.00		
	支出コスト	千円	決) 1,811	決) 7,196			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年度に山口国体が開催されたため、県内スポーツが盛んになっていることから祝金が増加傾向にあったが、年度によりバラつきがある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	引き続き実施していくが、スポーツを奨励し、市民のスポーツに対する意識の高揚の手段の一つであることを認識している。有効性及び妥当性を検討しながら進めていく。	評価責任者コメント	事業の取組みが直接実績に結び付くものではないが、適切に実施していく必要がある。祝金は申請に基づくものではないが、積極的に制度の周知をする必要がある。事業の統合等について検討をすること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
評価コメントのとおり制度周知を図っていく。 なお、本事業については平成28年度からスポーツ奨励事業費へ組み替えた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	全国大会出場祝金	全国大会等出場への祝意を表すことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。	全国大会等へ出場する市民等に対し祝意を表し、祝金を交付(500人)	1,900		0.02	
				否			
②	選抜高等学校野球大会出場費補助金	全国大会等出場への祝意を表すことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。	南陽工業高等学校の甲子園出場に関する必要経費の助成	5,000		0.02	
				否			
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161014	事務事業名	スポーツ推進委員関係経費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	スポーツ推進委員	事業の目的 (意図)	地域スポーツの人口拡大及び充実のため地域団体から選出のあったスポーツ推進委員の資質向上に努め、地域づくりの推進を図る。 (スポーツ推進委員の各種事業等への延出席者数 H27目標:1,000人)
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ推進委員の資質向上のため協議会の運営を行う。 ●周南3市で連携し、協議会の運営を行う。 ●山口県と連携し、協議会の運営を行う。 ●中国地区と連携し、協議会の運営を行う。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	スポーツ推進委員の各種事業等の延べ出席者数	達成項目/目標項目	%	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0
			実績値	1,124.0	1,154.0		
			達成度(%)	112.4%	115.4%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,830	4,852	4,795	4,823
うち一財		千円	4,830	4,852	4,795	4,823	4,823
(決算額)	直接事業費	千円	4,733	4,767		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	4,733	4,767			
	正職員人件費	千円	2,588	2,666			
	人工数	人	0.35	0.36	0.34		
	支出コスト	千円	決) 7,321	決) 7,433			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年6月24日に「スポーツ基本法」が交付され、従来の体育指導員から「スポーツ推進委員」となった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会の参加は不可欠であるが、公務での参加については予算に限りがあり、十分な対応ができていない。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	本市のスポーツを推進するうえで、指導者の立場であるスポーツ推進委員個人の資質向上を図ることが重要	評価責任者コメント	スポーツ推進委員は、市行事等の支援だけでなく、委員個人の資質を高め、スポーツ活動のコーディネーターとしての役割を一層求められている。市民の健康増進、人や地域を繋げるよう、自主的かつ積極的な取り組みを進められたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
予算における大きな変更はないが、より一層、スポーツ推進委員がその資質を高めるとともに、スポーツを通じて市民の健康を増進し、人や地域を繋げる取り組みができるよう後押しをしていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の資質向上のための各種事業への参加を増加	座学研修会等を開催し、更なる資質向上が図られた。	43,237		0.28	
				否			
②	周南地域スポーツ推進委員協議会	地域協議会の研修会等に参加し、情報収集、情報交換の場とする	光市で開催された研修会に参加し、3市の連携、情報交換、情報共有が図られ、推進委員の資質向上に努めた。	100		0.04	
				否			
③	山口県スポーツ推進委員協議会	県と連携してのスポーツ推進委員協議会の運営	光市で開催された研修会に参加し、県全体の協議会と情報交換、情報共有が図られ、推進委員の資質向上に努めた。	100		0.03	
				否			
④	中国スポーツ推進委員協議会	中国地区研修会に推進委員を派遣し、先進地の情報収集等を行う	鳥取市で開催された研修会に推進委員4名が出席し、推進委員の資質向上に努めた。	100		0.01	
				否			
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161017	事務事業名	地区スポーツ振興事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	スポーツによる地域活動を通して、地区住民の連帯感を高め、生涯スポーツによる地域づくりを推進を図る。 (地区スポーツ事業参加者数 H27目標:40,000人)
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの育成・拡充を推進する ●各地区スポーツ振興団体の運営費を補助を行う 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	地区スポーツ事業参加者数	達成項目/目標項目		%	目標値	40,000.0	40,000.0
実績値					35,496.0	37,166.0	
達成度(%)					88.7%	92.9%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,437	3,527	3,527	3,437
うち一財		千円	3,437	3,527	3,527	3,437	3,437
(決算額)	直接事業費	千円	3,427	3,431		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	3,427	3,431			
	正職員人件費	千円	1,035	1,333			
	人工数	人	0.14	0.18	0.12		
	支出コスト	千円	決) 4,462	決) 4,764			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	少子高齢化等による環境の変化で、地域に求められるスポーツ振興団体のあり方が、変化してきている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 地区によっては、活動規模が縮小している団体もあり、地域の実情に合った取り組みが必要となる。また、設立を推進している総合型地域スポーツクラブとの関わり方も課題である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	各地区において様々なスポーツ事業が開催されているが、地区によっては人口減少等から既存の事業を縮小・廃止しているところもある。
	事務事業の方向性	スポーツ振興委員会については、各地区のスポーツ事業の参加者が目標値を達成しているが、次世代の人材育成及び各地区ごとの特色ある活動が求められる。	評価責任者コメント	地区によっては、活動規模が縮小し、活動自体が停滞している団体もある。スポーツをする機会が失われ、地域の活力が減退しないよう、人・地域・組織を「まとめる」「繋げる」取り組みを検討すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
スポーツを通して地域の活力を高めることができるよう、市と地区スポーツ振興委員会及び地区スポーツ振興会相互の連携を深めていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	総合型地域スポーツクラブ	山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの普及、啓発	新規設立地域の開拓、新規クラブの設立1地区	0	否	0.08	
②	スポーツ振興委員会	各地区スポーツ振興委員会への補助金交付	地区スポーツ団体の活動を推進(各種事業参加者数40,000人)	3,527	否	0.10	
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161019	事務事業名	トレーニングルーム運営事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	専門指導員の配置すること、安心・安全に施設を利用でき、市民の体力づくりを推進を図る。 (利用者人数 H27目標:15,000人)
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が自発的に健康づくりを行うため、専門指導員による会員制トレーニングルームを運営する。 ●市民の健康づくりのため有料制のトレーニングルームを開放する。 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	新南陽利用者人数	達成項目/目標項目		%	目標値	15,000.0	15,000.0
実績値					12,304.0	12,664.0	
達成度(%)					82.0%	84.4%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,736	2,772	2,808	2,915
うち一財		千円	195	266	458	567	567
(決算額)	直接事業費	千円	2,694	2,772		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	381	329		指導員報酬単価の増加によるもの	
	正職員人件費	千円	370	370			
	人工数	人	0.05	0.05	0.05		
	支出コスト	千円	決) 3,064	決) 3,142			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	器具の老朽化	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 器具の老朽化により、備品の整備と併せて運営方法の見直しの時期である。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	老朽化した器具の更新には、多額の費用も必要になることから、老朽化した器具は撤去し、指導員を活用した、健康教室等の開催、また民間施設の活用等を検討する時期である。		器具の老朽化とともに、安全性の確保も課題である。費用対効果を精査し、運営方法を見直す必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
本市で最も利用者が多いトレーニング施設である。安全面に配慮した運営を最優先とするが、今後は指導員による健康づくり教室についても行っていく。併せてサービスに対する適切な利用料のあり方についても研究していく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	トレーニングルーム運営	会員のニーズに対応した環境の提供	専門指導員を配置し、適切な指導、安全確保に努めた。	2,772 可		0.05	1.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161032	事務事業名	スポーツ大会開催事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	生涯スポーツの啓発促進を図ることにより、市民の健康づくり、地域づくりの意識が高まる。 (参加者数 H27目標:市民スポーツフェスタ参加者数3,000人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツを「する人」・「観る人」・「支える人」の観点から市民が気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。 ●子どもの体力づくりのため一輪車選手権を開催する。 ●障害者を対象とした市民パラトリム大会を開催する。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	市民スポーツフェスタ参加者数	達成項目/目標項目		%	目標値	3,000.0	3,000.0
				実績値	0.0	747.0	
				達成度(%)	0.0%	24.9%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,332	1,276	22,928	22,223
うち一財		千円	1,332	1,276	22,928	22,223	22,223
(決算額)	直接事業費	千円	304	578		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	304	578			
	正職員人件費	千円	6,138	6,146			
	人工数	人	0.83	0.83	1.51		
	支出コスト	千円	決) 6,442	決) 6,724			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	スポーツ基本法の制定に伴い、「する」だけでなく、「観る」、「支える」視点でのスポーツの推進が求められるようになった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツをしない人が、スポーツに関心をもち、日々の生活一部にスポーツに親しむ契機となるよう、多くの人に参加してもらう必要がある。	
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	ねんりんピックと同日開催となり、利用施設に制限がありイベントの規模を見直したため。
	事務事業の方向性	スポーツをしない人が、スポーツに関心をもち、日々の生活一部にスポーツに親しむ契機となるよう、多くの人に参加してもらう必要がある。スポーツフェスタについては身体を動かすことの大切さ・楽しさを認識できる参加型、体験型のスポーツイベントにしていく。	評価責任者コメント	地域間の活動に違いもあるため、各競技団体の大会数は減少している。スポーツフェスタとともに、体育の日に各種競技団体がスポーツの裾野を広げる大会や催しを積極的に進めていけるような仕組みづくりも検討していく必要がある。	

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度から、体育の日のスポーツフェスタとともに、競技団体の大会、市民パラトリム大会、健康づくりの団体等の催しが行われ、より多くの市民の参加が得られた。より一層多く市民が参加できる事業となる改善をしていく。なお、28年度から本事業に「種目別市民体育大会等運営事業費」、「スポーツ・レクリエーション行事開催事業費」の業務を統合した。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	市民スポーツフェスタ	市民の体力づくりのため気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。	フェスタ形式の開催とし、市民が気軽に参加できる事業展開を行う。(3,000人)	557	可	0.56	
②	一輪車選手権	子どもの体力づくり	参加者の獲得に努め、子どもの体力づくりに取り組む(参加者数100人)	8	否	0.14	
③	市民パラトリム大会	障害者の体力づくり	障害者の自発的な体力づくりと社会参加を促す(参加者数50人)	13	否	0.13	
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161033	事務事業名	種目別市民体育大会等運営事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	競技団体を中心に市民の自発的なスポーツ活動の推進及び各種目の競技力の向上につながる。 (大会開催数 H27目標:100回)
事業の内容 (手段)	●各種競技団体の市民大会の開催を体育協会に委託し、アマチュアスポーツの競技力向上及び普及、振興の促進		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	大会開催数	達成項目/目標項目		%	目標値	100.0	100.0
実績値					85.0	81.0	
達成度(%)					85.0%	81.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	22,039	21,954	0	0
うち一財		千円	22,039	21,954	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	21,932	21,761		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	21,932	21,761			
	正職員人件費	千円	148	148			
	人工数	人	0.02	0.02	0.00		
	支出コスト	千円	決) 22,080	決) 21,909			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	市民の健康づくり、競技力向上に引き続き貢献している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 より効率的にスポーツを推進していくために、(公財)周南市体育協会は加盟団体との連絡を密にし、体育協会が中心となって取り組んでいく必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民のスポーツへの参加、競技力の向上につながるよう、(公財)周南市体育協会を通じて、体育協会加盟団体に積極的な大会開催を促す。		評価責任者コメント	競技力向上のためには、競技者数の拡大と指導者の育成が求められる。各種競技団体がスポーツの裾野を広げられるよう初心者向けの大会や講習会を積極的に進めていけるような仕組みづくりを検討していく必要がある。事業の統合等について検討をすること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
スポーツの裾野拡大については、加盟団体への有効な助成手法等について体育協会と協議していく。なお、本事業については、平成28年度からスポーツ大会開催事業費へ組み替えた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	種目別市民体育大会等運営委託料	年間100大会を目標に、参加者の増加に努め競技力の向上を図る。	各種競技団体の市民大会の開催を体育協会に委託	21,761		0.02	
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161035	事務事業名	スポーツ・レクリエーション行事開催事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民を中心に広域	事業の目的(意図)	市民だけでなく市外からの参加者を拡大することで、スポーツによる地域おこし、地域づくりを推進することができる。 (参加者数 H27目標:7,000人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●津田恒実メモリアルスタジアムを活用したウェスタンリーグ公式戦を開催する。 ●大津島の自然を活用した大津島ポテトマラソンを開催する。 ●熊毛地区の鶴を活用したくまげ鶴の里ウオーク大会を開催する。 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	2,000.0	7,000.0
大会参加者数		達成項目/目標項目 ※ウェスタンリーグ荒天中止		実績値	5,675.0	1,212.0	
				達成度(%)	283.8%	17.3%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	2,250	2,750	0	0	0
(予算額)	うち一財	千円	2,250	2,750	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	1,090	937		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,090	937			
	正職員人件費	千円	5,177	5,184			
	人工数	人	0.70	0.70			
	支出コスト	千円	決) 6,267	決) 6,121			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	行政と地元スタッフが連携し、事業を行ってきたが、地元スタッフの高齢化によりスタッフ不足が深刻な問題になっている。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ポテトマラソンについては、開催場所が離島であり、輸送方法にも限界があり、大幅な参加者増は見込めない。また、救急患者等の対応についても検討する必要がある。	
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	ウェスタンリーグ雨天中止のため大幅な人数減
	事務事業の方向性	各種大会、イベントにおける問題点を見直すとともに、「観るスポーツ」であるウェスタンリーグ開催については別事業の細事業項目として整理する。	評価責任者コメント	ポテトマラソンについては、地域の活性化や離島振興の観点からも特色ある大会であるが、安全性の確保が重要な課題である、コースの確認や救急対応の再検討をされたい。また、事業の統合等について検討をすること。	

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
細事業の各種大会等については、回数も重ね本市の独自事業として定着しつつあるが、市の直接実施事業から、民間、地元、スポーツ団体、ボランティア等との協働で運営していく体制への移行を進めていく。なお、本事業については平成28年度からスポーツ大会開催事業費へ組み替えた。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	プロ野球ウェスタンリーグ開催	多くの市民に、プロ野球にふれあう「観るスポーツ」の場を提供	荒天により中止	0		0.17	
				否			
②	大津島ポテトマラソン	幅広い年齢層の参加者確保と地域活性化	参加者数に制限があるが、大会の魅力を高めて定員数に達した。(実績数:493人)	550		0.50	
				否			
③	くまげ鶴の里ウオーク大会	幅広い年齢層の参加者確保と地域活性化	地域との連携も図り、参加者数も増加傾向である。(実績数:719人)	200		0.03	
				否			
④	津田恒実杯軟式野球大会開催交付金	故津田恒実氏を顕彰する学童、中学校軟式野球大会を開催する。	大会開催にかかると会場使用料を助成する。(実績数:32チーム)	187			
				否			
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	162005	事務事業名	体育施設管理費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者 (課長)	江波 徹	評価責任者 (部長)	合田 幸二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民	事業の目的 (意図)	市民が気軽にスポーツ活動を実施できる環境が整う。 (体育施設利用者数 H27目標:450,000人)
事業の内容 (手段)	●スポーツ、レクリエーション、文化等の活動の場を提供し、スポーツや文化の振興を図るとともに、だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	利用者数(体育館4施設)	達成項目/目標項目		%	目標値	450,000.0	450,000.0
実績値					392,187.0	330,708.0	
達成度(%)					87.2%	73.5%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	277,319	282,109	275,886	277,554
うち一財		千円	230,780	215,382	227,688	228,351	228,351
(決算額)	直接事業費	千円	276,197	283,774		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	226,428	283,774		体育施設指定管理料の増額(周南市野球場LEDスコアボード保守点検のため。)	
正職員人件費	千円	3,845	3,554				
人工数	人	0.52	0.48	0.51			
	支出コスト	千円	決) 280,042	決) 287,328			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設利用者や指定管理者等への指導、協力を得ながら経費の削減に努めている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 施設の老朽化に伴う突発的な修繕、改修が発生するため、より細かなところまでの維持管理に注意を払う必要がある。
	評価	C A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	イベント(花☆ワイン周南まんま市場)の開催場所変更による利用者数減。
	事務事業の方向性	市民に利用し易く、安心安全な施設の提供を念頭に、指定管理者、関係課と連携し、適切な管理運営に取り組む。	評価責任者コメント	多くの施設で老朽化進んでいるが、人口が減少する中では施設を整備することは困難である。平素から点検・営繕により、施設の長寿命化を図ること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
老朽化により修繕が必要な箇所が年々増加しているため事業費を精査した。施設の長寿命化の取組みとともに、体育施設整備事業とあわせて優先順位をもって進めていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	地区グラウンド維持管理	対応が必要な案件に優先順位をつけ、効率的な維持管理を行う。	地区グラウンドの維持管理(利用者数:33,258人)	3,649	否	0.03	
②	放置自動車	放置車両が発生しないよう、関係機関と連携して対応する。	指定管理者や公園管理者と連携し、駐車場等の利用実態を把握、対応を行った。	0	否	0.03	
③	施設管理システム運営	施設利用者の利便性の向上と施設の業務の効率化を図る。	施設管理システム運営を委託	2,994	可	0.10	
④	体育施設指定管理業務	指定管理者、関係課と連携し、適切な管理運営に取り組む。	体育施設の維持管理【利用者数:575,824人(徳山)、46,512人(新南陽)、40,845人(熊毛)、21,889人(鹿野)】	277,131	否	0.26	
⑤	ネーミングライツ更新業務		総合スポーツセンター及び周南市庭球場に関するネーミングライツ契約の更新	0	否	0.06	